

2020年12月21日

各位

**第87回皇后杯 ENEOSサンフラワーズが8連覇達成！  
～大会最多25回目の優勝～**

ENEOSサンフラワーズ（ヘッドコーチ：梅畚 英毅）は、12月20日（日）に行われた第87回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会決勝戦におきまして、トヨタ自動車 アンテロップスに87対80で勝利し、自身の最多記録を更新する25回目の優勝、大会記録タイとなる8連覇を達成しましたので、お知らせいたします。

決勝戦では、前半最大14点のリードを許したものの、第3クォーター終了間際に64-63と逆転。第4クォーターでは、精度の高い攻撃と粘りのディフェンスで相手を圧倒し、勝利を収めました。これは、渡嘉敷選手をはじめとする主力メンバーを欠く中、キャプテン岡本選手を中心にチーム一丸となって手にした勝利です。

今大会活躍した選手に贈られるベスト5には、宮澤選手（5年連続5回目）と宮崎選手（初受賞）が選出され、攻守ともに活躍した宮澤選手は自身3回目となる、最も名誉ある大会MVPを受賞しました。



ENEOSサンフラワーズは、2021年1月9日（土）から後半戦が再開する第22回Wリーグにおいて、前人未到となる12連覇を目指し戦ってまいります。引き続き、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

<試合結果>

日程		対戦チーム	スコア
2020年12月16日（水）	準々決勝	富士通 レッドウェーブ	78-59
12月19日（土）	準決勝	デンソー アイリス	78-62
12月20日（日）	決勝	トヨタ自動車 アンテロップス	87-80

**とどけ! 熱いエネルギー ENEOS**

<コメント>

	<p><b>梅崎 英毅</b>ヘッドコーチ 大会期間中、心強いご声援をありがとうございました。 準々決勝で渡嘉敷選手が負傷してしまい悔しい思いでいっぱいの中、チーム全員、誰ひとり諦めることなく勝利に向かって貪欲に戦ってくれました。選手・スタッフ全員の力で歴史を積み重ねる事ができ嬉しく思います。Wリーグも優勝を目指し精進してまいります。今後共、ENEOSサンフラワーズへのご声援宜しくお願いいたします。</p>
	<p><b>岡本 彩也花</b>キャプテン 苦しい状況でも選手それぞれが自身の力を最大限に発揮し、チームのために戦い優勝する事が出来ました。渡嘉敷やプレーできない仲間の分まで頑張ろう、絶対に優勝しよう！という試合に出る選手達の気持ち、試合に出られない分、ベンチやコート外で仲間をサポートしよう！という皆の気持ちが1つとなった結果だと思えます。このチームでキャプテンを務めることができ幸せです。 Wリーグも優勝目指して、チーム皆で頑張ります。これからも応援宜しくお願いいたします。</p>



皇后杯を授与され笑顔あふれるENEOSサンフラワーズの選手